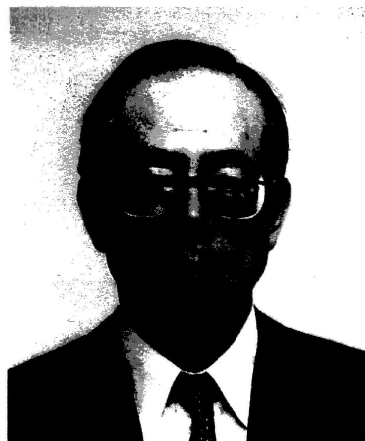


福田康夫



略歴

昭和11年7月16日生まれ。早稲田大学政治経済学部を卒業後、石油会社勤務、内閣総理大臣秘書官を経て、衆議院議員に。当選6回、群馬県第4区選出。自由民主党では、外交部会長、経理局長、新憲法起草委員会小委員長等、内閣では、外務政務次官、男女共同参画担当大臣、内閣官房長官等を歴任。

希望と安心のくにづくり

— 若い人に希望を、お年寄りに安心を —

「くにづくり」の基本理念

「改革を進め、その先にめざす社会」

- ① 自立と共生の社会
- ② ストック型（持続可能）の社会
- ③ 男女共同参画の社会

「これまでに生じた諸問題に丁寧に対応

特に留意すべき点は、

- ① 年金・医療・介護
- ② 地方
- ③ 中小企業
- ④ 農林水産業・農山漁村
- ⑤ 社会的弱者

「民意を大事にし、国民の意見が的確に

反映される社会の構築

「国際的に尊敬と信頼を得られる国家へ

国連重視、日米同盟堅持、アジアの一角たることを基軸とする外交

- ・ 拉致問題の解決と朝鮮半島の非核化、東アジア共同体の実現を目指す
- ・ 国際的なテロ対策を推進する

環境立国政策の推進

- ・ 北海道洞爺湖サミットを成功させ、環境技術と人材育成で国際貢献を行う
- ・ 「もったいない」の心でストック型社会を構築する

社会総がかりの教育再生と文化・スポーツの振興

信頼できる公教育の確立、道徳教育の充実、地域・家庭の教育力向上を図る

- ・ 伝統文化を継承し、歴史的建造物等を保護する

経済成長戦略

- ・ 「改革と成長」路線を継続し、科学技術・知財戦略を拡充する
- ・ 観光立国政策を推進し、ビジット・ジャパン1000万人を達成する

年金・医療・介護・福祉制度の安心と信頼を確立

- ・ 与野党の壁を越え、国民が納得できる年金制度を構築する
- ・ 高齢者医療費負担増の凍結を検討し、医師不足解消のための抜本的措置を講ずる
- ・ 障害者自立支援法を抜本的に見直す

少子化・人口減少対策

- ・ 産科医・小児科医不足を解消し、子育て支援策を充実する
- ・ テレワーク人口倍増アクションプランを推進する

地方の再生

- ・ 地方への企業立地促進税制等、頑張る地方が自立できる税制・交付税を検討する
- ・ 地域コミュニティの再生・振興を図る

農業・林業・水産業の振興

- ・ 農山漁村の所得・雇用の増加を図る施策を充実する
- ・ 全ての農地を活用するための新たな施策を展開する

中小企業の振興

- ・ 事業承継税制と技術高度化支援を大胆に拡充する
- ・ 下請いじめ解消のために取引適正化を図る

戦略的な社会資本整備

- ・ 既存の社会資本ストックを活用し、2000年住宅を推進する
- ・ 公共事業における地方負担の在り方を見直す

安心・安全な社会作り

- ・ 食品の安全を確保する
- ・ 犯罪、災害、自殺への対策を強化する

政治主導の政治、行財政改革の推進

- ・ 政治とカネの明確なルール作りと透明化を図る
- ・ 行政の無駄をなくし、公務員改革を推進する

福田康夫って、どんな人？

同僚議員の福田康夫評は、「知恵と勇気、思いやりの人」「飄々としているが、いざという時の胆力も凄い」「嘘むほどに味が出るスルメの様な人」など様々だが、「やるべきことをやり抜ける本格派政治家」との評価は衆目の一致するところだ。